

## 安全安心の学校ニュース

### ●水泳の授業に関して

例年行ってきた水泳指導が昨年度はコロナの影響で実施できませんでした。水泳指導の目的は、単に、暑い時期だからとか、泳げるようにとかだけではありません。豪雨災害や東日本大震災の津波の被害でもわかる通り、近年、水による命に危険が及ぶ事案が増えています。水泳指導には、「水から命を守る」というねらいもあるのです。

しかし、心配されるのは感染症対策です。特に更衣室における密を避ける工夫が必要です。今年度は、更衣室の人数の割合を減らす特別な工夫を実施して、安全に水泳指導の実施を行いたいと考えています。生徒のみなさんも、活動中や更衣のときには、できるだけ会話を避け、密にならないように互いの距離も保ちながら、短時間で済ませる協力をお願いします。

水泳指導にあわせて、1・2年生対象の水着の販売も行います。学校から配布された所定の用紙をご覧くださいご購入下さい。

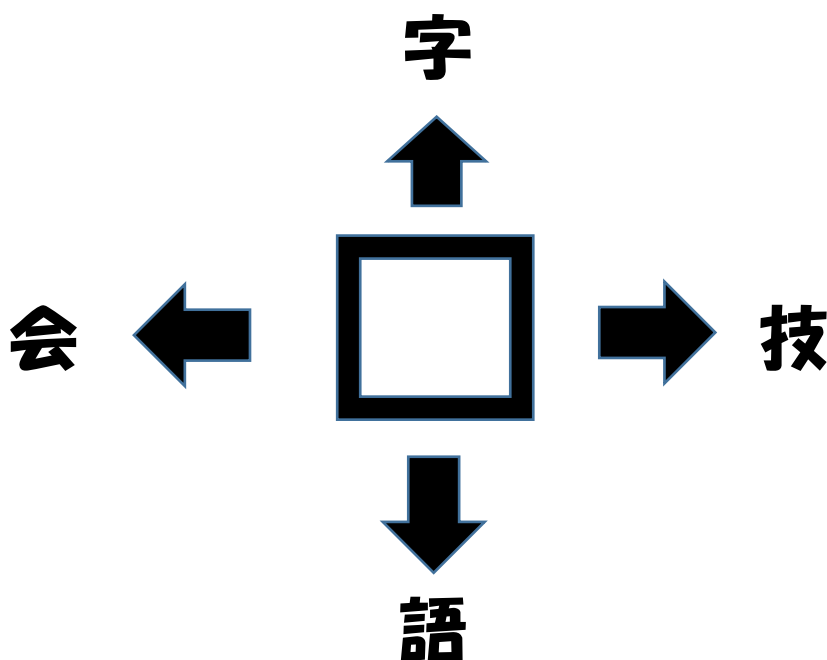
## 西中フライド

### ●今年度西中学校の学びのテーマ「考えること」

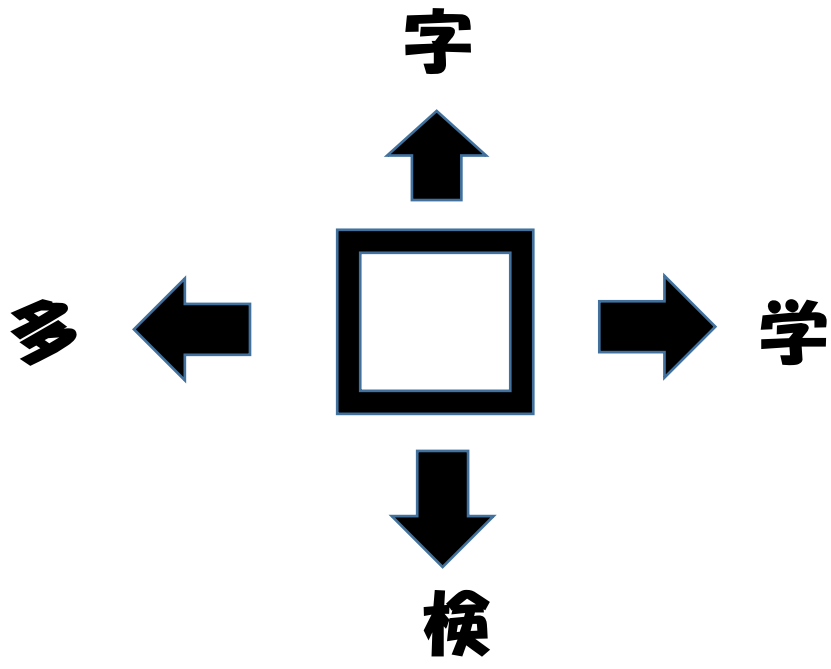
今年度の西中学校の学びのテーマは「聞くこと」「考えること」です。始業式や学校だよりやこの校長だよりでも何度も説明してきました。そんな中で、ある生徒が私にこういうプレゼントをしてくれました。それは自作のクイズです。このクイズにみんなで挑戦することでみんなの考える力もアップできるし、そもそもクイズを考えてくれた人は、それ自体クイズを解く以上に「考えること」に繋がります。そしてこの自作クイズの輪が広がれば、クイズをつくる人解く人と「考える人の輪」が広がります。

では、その人が作ってくれたクイズを 5 問ここに紹介します。答えのわかった人は校長室まで知らせに来てください。

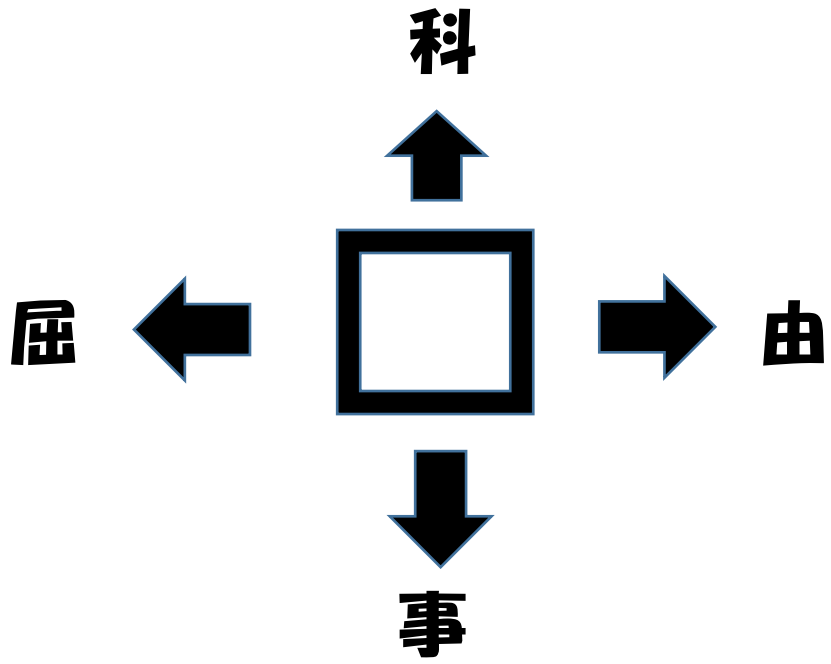
①



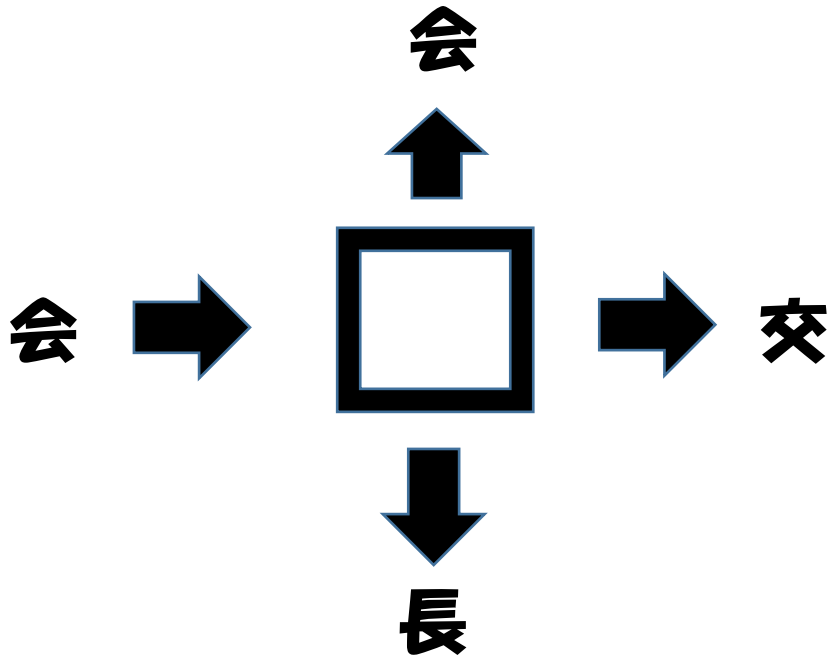
②



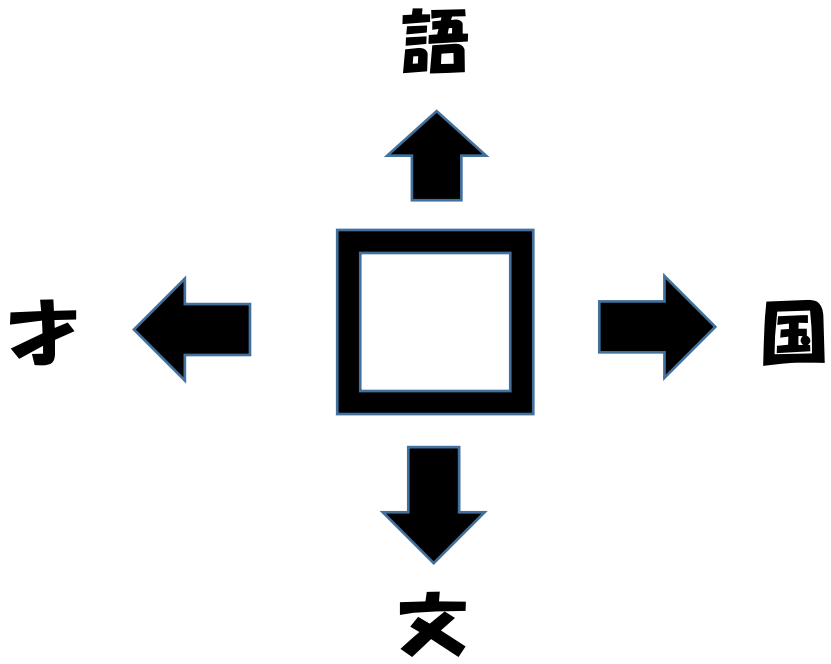
③



④



⑤



## ●火災に関する避難訓練

昨日、火災に関する避難訓練が行われました。その中でもお話ししたことをここでもう一度おさらいしておきたいと思います。

### ★なぜ、避難訓練では、急いで逃げろとせかされるのか？

もちろん一刻も早く、危険な箇所から安全な場所へ移動するという理由もあります。しかし、それだけが理由なら、全員運動場に逃げなさいと言うように、一ヶ所に逃げる意味はありません。一刻も早く逃げ、一ヶ所に集まるのは、素早く点呼を行うためです。ではなぜ素早い点呼が必要かというと、逃げ遅れた生徒を、できる限り早く把握し、先生たちが1秒でも早く救出に向かうためです。

### **素早く点呼するために**

- 1、 集合したら黙る。（指示が聞こえなくなるように）
- 2、 できるだけ素早く並び、大体並んだら素早く座る。  
（座った方が指示の音が通りやすい）
- 3、 学級委員が人数確認を行う。 ➡担任 ➡学年主任 ➡校長
- 4、 全校生徒は自分の近く（前後左右）の顔ぶれを見て、その場にはいない人がいたら担任に知らせる。
- 5、 必ず、教員自身が生徒一人一人の顔を見ながら、2回以上、人数の確認を行う。（学級委員に責任を押し付けない）

## **★なぜ、避難訓練では、並んで逃げろといわれるのか？**

避難するときに、いちいち並ぶより、それぞれが逃げ出すほうが早く感じます。しかし、避難するときに、個人個人が駆けだすと、出入り口に人が殺到して、将棋倒しのような状態になってけが人が出たり、時間がかかったりします。経験や実験上も、並んで逃げた方がスムーズにいくのでそうしています。また、学級で並んで移動することで、先生達からの臨機応変な指示が伝えやすくなります。火災などでは、予定通りの避難経路を取れないケースもあります。そういうときに、「こっちに向かって逃げるぞ」という先生からの指示が命を救う可能性もあるのです。だからこそ、並んで固まって逃げるのが重要なのです。

## **★正しい知識があなたの身を守ることもある。**

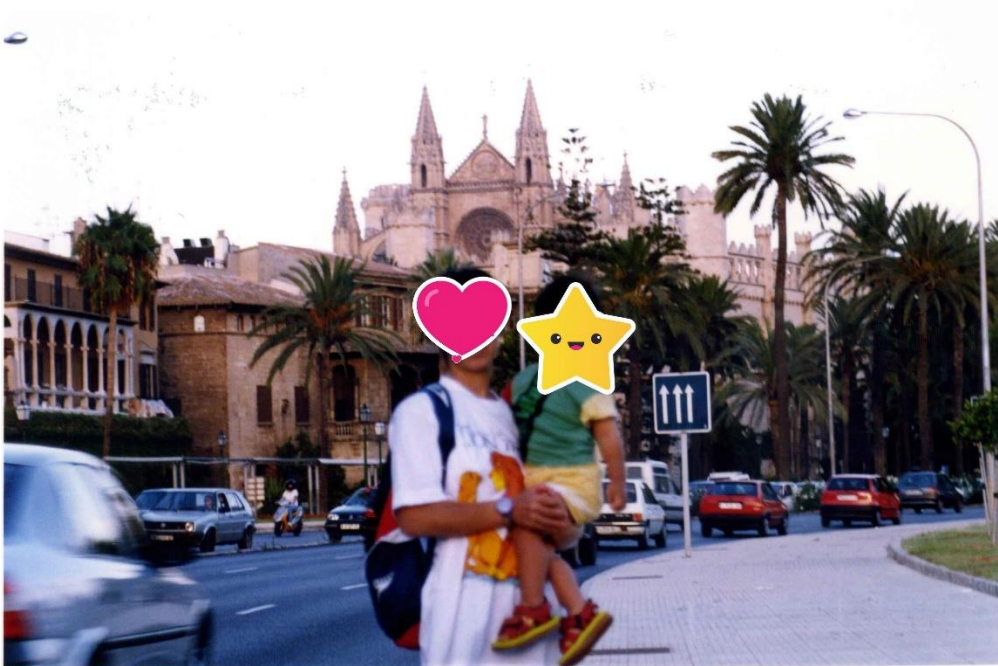
火災におけるけが人や死者は、火に焼かれて、物が落下してきたり、自分自身が高いところから転落したり、将棋倒しになったり、そして、煙に巻かれてというものがあります。

ケースとして多いのは、煙に巻かれることです。有毒ガスを吸い込んで死んでしまうケースもあります。では四方八方を煙に囲まれたらどうしたらいいでしょう？実は有毒ガスは空気より軽いので、地面から10センチぐらいの高さのところにはきれいな空気があると言われています。このような知識を知っていれば、床に伏せて、誰かの助けを待つことで、命びろいする可能性もあります。

# 魔法のじゅうたんにのって スペイン(マジョルカ島)

スペインのバルセロナからフェリーに夜に乗ると朝方マジョルカ島に到着します。マジョルカ真珠という天然真珠で有名な島です。

船はマジョルカ島の中心都市であるパルマというところに到着し、そこには、大聖堂がそびえたっています。400年もの歳月をかけて建築されたゴシック様式の大聖堂でした。



ホテルまでタクシーで行き、1泊目は、知り合いに紹介してもらった、豪華なプールのある海に面したホテルに（意外と格安）泊まりました。翌日レンタカーを借りて島巡りをしようと思っていたのですが、ホテルの観光案内のパンフレットを見ていると何やら気になる写真が。

写真には、暗い大きな洞窟の湖に小舟が浮かんでいる光景が写っていました。私は、この鍾乳洞に行ってみたいと感じホテルの人に聞くと、なんと片道8時間かかるそうでした。それでも、なぜかその鍾乳洞に行ってみたい気になって、家族そろってそこに向かうことにしました。

道中は、とても素敵な旅でした。照り付ける太陽のもと、赤茶けた土の大地が広がり、そこにはスペイン独特の風車の光景がありました。まさにドン・キホーテの世界でした。また、小さな入り江が点在し、そこでは海水浴を楽しむ人々の姿があり、山に登ると断崖絶壁の先にエメラルドグリーンの海が見られました。途中下車しながら片道8時間を楽しみました。









実はこのマジョルカ島、かの有名な音楽家ショパンが彼女と隠れ住んだ場所としても有名でした。

長旅を終えて、無事にドラッグ鍾乳洞の入り口に到着しました。中に入ると、薄暗くひんやりとした空気。何千年何万年という長い歴史を感じる鍾乳石がたくさん垂れ下がっていました。洞窟の奥に進むと、岩でできたホールのような広い場所に出ました。そこは半分陸地であり半分湖でした。地底湖というやつです。陸地の側には、長椅子が並べられてあり、私たち家族も、そこに座って待っていました。椅子が人で埋まったところに、真っ暗な地底湖の奥から小舟が近寄ってきます。小舟には数名の楽隊が乗っていて、何とショパンの曲を演奏しているのです。真っ暗な地底湖の奥から楽隊が演奏した小舟がだんだん近づいてきて、まるで天然のコンサートホールのように音楽が湖の広い洞窟に響き渡りました。まさに感動的でした。写真で見た光景はこの様子だったのでした。

鍾乳洞の出口の先の広場には、大きな鍋が置いてありました。そこにはパエリアがおいしそうに出来上がっていました。海産物いっぱいのおいしいパエリアを食べて、翌日またレンタカーで8時間かけて戻りました。